

令和6年度

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 とんぼ池山荘	代表者	福山 知子	法人・ 事業所 の特徴	「一人ひとりの心を大切に」の理念のもと、利用者様・家族様が何を必要とされているかを共に考え、共に悩み、柔軟な対応とサービス提供を心掛けている。 春は桜に夏は蛍。秋は紅葉、冬は薪ストーブが大活躍。ログハウスの建物の中でも外でも、一年を通じて四季を感じられる施設である。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護事業所とんぼ池	管理者	澤田 裕加里		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・ 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	3人	3人	人	人	1人	人	4人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	常勤・非常勤スタッフ全員で今後も事業所評価に取り組んでいく。	スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できた。	毎年、自分達の業務を振り返ることはいい事だと思う。	これからも、スタッフ全員で自己評価・事業所評価に真摯に取り組んでいく。
B. 事業所のしつらえ・環境	今後も事業所に入りやすい雰囲気づくりを継続して行い、見学・体験も積極的に受け入れていく。	見学や体験の方を受け入れ、居宅介護支援事業所や包括からの問い合わせにも、対応している。	介護相談を丁寧に受けられている。 職員さんがきちんと挨拶されていて気持ちがいい。	介護や利用についての問い合わせは、相談受付シートにきちんと記録をし、相談者に寄り添う対応をする。
C. 事業所と地域のかかわり	地域にどんなイベントがあるかを情報収集し、職員・利用者様とも参加・交流していく。	運営推進会議や近隣の方との会話の中で、地域のイベント情報を収集している。	とんぼ池のイベントを近隣住民にも教えてもらえたら、交流が出来るのではないかな。	「地域に出向くそして、地域から来ていただく」機会を増やしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	運営推進会議以外でも、地域の方との信頼関係を結び、「地域でお役に立てる介護施設」として関わっていく。	利用者様を部屋に閉じ込めず、季節に応じたお出掛けを企画し、実行している。	通信を通じて、お花見や芋ほりと いった外出の機会を作られていることを知った。よい表情をされていて喜びが伝わってくる。	利用者様が孤立することなく、楽しみを感じながら生活できるよう支える。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所の取組みを発表するだけでなく、地域で介護に関する困りごとがないか等聞き取る。	介護を必要とされている方の話だけではなく、防犯についての情報共有ができた。	利用者様の情報を、守秘義務の範囲内で共有してもらうことで、防犯にも役立てることが出来ている。	運営推進会議でいただいた意見等を、会議に出席していない職員とも情報共有する。
F. 事業所の防災・災害対策	BCP計画に基づき、有事の際には落ち着いて行動できるよう、職員に周知徹底する。	BCP研修を実施し、職員に周知することが出来た。	事業所の防災訓練には参加することがない。	BCP研修・訓練を実施し、地域と協働が出来るよう発信していく。